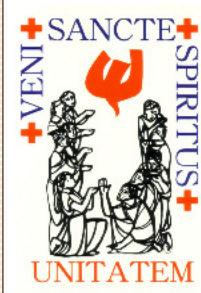


折るとき、わたしたちは神さまの愛の光になります。修道院において、私たちが生きていくところで、そしてついには全世界のために。

マザー・テレサの言葉

カトリック高松教区報

2020年11月8日 (第198号) 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会 〒760-0074 高松市桜町1-8-9 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484 Email 教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp 広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp 生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



パンデミックの中で

新たな兄弟愛が必要

もつとも弱い人の重荷を担いなさい

使徒ヨハネ 諏訪榮治郎

コロナウイルス終息が見いだせない中、世界中が緊張状態に置かれています。感染防止のため、事業休止を余儀なくされ、仕事を失った方々の苦難を目の当たりにしています。「子供にはミルクを、わたしは水を飲みます」という男性の言葉や、学校給食が停止され月2万円の子供を育てるシングルマザーの生活がネット

で報じられ、毎日心が痛みます。私たち教会は何かできないでしょうか。「貧しい人のための世界祈願日」(年間第33主日2020年11月15日)に向けて教皇メッセージ「貧しい人に援助の手を差し伸べよ」(シラ7・32)が届きました。その中の一部ですがご一緒に耳を傾けてみましょう。(全文はカトリック中央協議会のホームページ「最近の文書」に掲載されています。)

7 このパンデミックは突然やって来て、わたしたちの不意を突き、大混乱と深刻な無力感をもたら

しました。けれども、貧しい人に差し伸べられる手は、とっさに出されたいものではありません。その手はむしろ、必要なときに助けられるようにと、貧しい人に気づけるよういかに準備してきたかをあかししています。突然、あわれみの道具になれるわけはありません。日々の訓練が必要で

なものを見つめ続けることがいかに大切であるかに、改めて気づいたので。そして、互いに助け合い、敬い合うことのできる、新たな兄弟愛が必要だという思いを深めま

した。今こそ好機です。「わたしたちは互いを必要としていること、他者と世界に対して責任を共有していること、...こうした確信を、わたしたちは取り戻さなければなりません。もう長らく、倫理、善、信仰、誠実さを茶化すことで、わたしたちは道徳的退廃を経験してきました。...社会生活の基盤が腐ると、対立する利害をめぐる争い、新たな形態の暴力と

蛮行、そして環境を気遣う真の文化の成長の阻害が確実に起こります」(回勅『ラウダート・シ』229)。つまり、隣人とあらゆる人に対して各人が覚えるべき責任をないがしろにし続ける限り、経済、財政、政治の深刻な危機は収束しないのです。

関与する責任を負うようにとの呼びかけです。聖パウロが記しているように、それは、もつとも弱い人の重荷を担いなさいという励ましです。「愛によって互いに仕えなさい。律法全体は、『隣人を自分のように愛しなさい』という一句によって全うされるからです。(全文はこちら)



はばたき

父よ委ねます、私のすべてをあなたの御手に テノールのやや高い声が聞こえる。本日はこの曲から始まった。4分割された画面に見慣れた神父様、助祭さんの顔が映し出されている。

今日はルカ8・19と21だった。司会の神父様の声「本日は短い箇所ですが、信仰の家族というテーマで分かち合ひましょう」、「教会も一つの家族です。家族として初めての人を暖かく迎えていますか」、「日本人は特に新しい人に遠慮がある。誰かのお客さんだろうと思ってしまうし、特に大きな教会だと」、「それぞれ国の文化に違いはあるが聖書の教えに従って生きることは同じです」、「南米・東南アジアの子供たちは道路で生活する子が多くいるしかし、みんな同じ家族である。」、「家族の中で特に父親の考え方が大切です。父は自信を無くしています。でも父は偉いのです」...

わたしたちが経験しているこの時は、これまで確かだと思っていた多くのことがらを揺るがしています。閉塞感と自由の制限を経験したことで、自分がより貧しく、より弱くなったように感じています。仕事を失い、最愛の人とともにいる機会を断たれ、当たり前だった付き合いさえもなくなつて、これまでは見えなかった展望が突如、開けました。わたしたちの心の豊かさ、物質的な豊かさが問われるようになり、自分が恐れていることに気づきました。自宅にじつとこもっている間に、質素であることと、本質的

8月17、20日、教区内の司牧者小教区の方から頂いたことへの感謝でも発信し続けることが提言されました。12名(教区、修道会、宣教会)が力です。美味しいお食事と過ごしやすい環境は、間違いなく、黙想の糧と者達にも分かち合いたいという意見もありました。修道会等で個別に行っている司牧者慮下さったイル神父様への感謝も。黙想会を、「合同で且つ講師は参加者の中から」というコンセプトで行い、2つ目は、1人ひとりの召命の物語に耳を傾けながら、お互いの理解が深まり、また自分自身も振り返りながら、宣教会から選出し、1人ひとりからインスピレーションを得たという召し出しについてお話ししました。うことです。3つ目は、やはり同じ黙想、聖務日課、ミサ、食事、そして、分かち合

最後に、筆者としては、大先輩方の生きざまを伺い、感銘を受けました。これからも、兄弟として分かち合ひ、学ばせて頂きたいと思ひました。読者の皆様におかれましても、何卒今後とも司牧者団のためにお祈り頂けましたら幸いです。神学生の頃よく言われました、「司祭は、人との出会いの中で、豊かに育まれる」のです。

豊かに育まれる

司祭は人との出会いの中で豊かに育まれる

教区内司牧者黙想会

司祭は人との出会いの中で豊かに育まれる

高山徹神父



配信はこちら





### 聖ドミニコ宣教修道女会

## 修道誓願50周年おめでとうございます

1970年に初誓願のお恵みをいただいたシスター方が、今年50周年を迎えられました。おめでとうございます。

聖ドミニコ宣教修道女会では、10月3日にセミナーハウスでの金祝賀会を予定していましたが、コロナウイルスの感染拡大で中止になり、各修道院で金祝を祝うことになりました。

高松教区におられる同修道女会の3人のシスターが、50周年を迎えるの思いを届けてくださいました。

北条修道院

Srベネディクタ 中田婦美子



指導で、1964年12月24日に台北市の聖家族天主堂で洗礼を受けたことに始まります。

その後、日本に帰り、聖ドミニコ宣教修道女会に入会し、長年にわたり学校法人聖カタリナ学園の教育事業を通してわたしを支えてくれました。

この度、修道誓願50周年を迎えることができましたことを、教会と修道会に対して心から感謝申し上げます。この日を迎えることは、わたしの信仰の原点に戻ることにあります。わたしが父の仕事の関係で台湾におりました時、その地のインターナショナル・ドミニカン・スクールのシスターのご

坂出修道院

Srセシリア 林桂子

私は、聖ドミニコ宣教修道女として、本日誓願



50年を、迎えることが出来ました。これも神様のお憐れみと、これまで導き祈って下さった方々、神父様、家族、友人のお陰と感謝しています。

私は松山出身です。修道院入会后、伊丹、東京、岡崎で修練と修学期を努めた後、沖繩に派遣され、幼稚園、小学校を始め奉仕しました。続けて、グアム、アメリカでも同じく、国際的な奉仕をし、

現在は聖マルチン修道院に所属し、今までの経験を活かしながら、教会でのミサの伴奏や、教会学校児童の習字やピアノの指導、老人ホームの音楽教室の奉仕をやっていきます。もう高齢ですので、神様からのお恵みを終えるまで、健康で教会と人々のために、元気で奉獻生活を頑張りたいと思っています。

小豆島修道院

ベルナデッタ 渡部マツ子



2020年10月10日、誓願50周年を迎える事が出来ました。これも、神様、修道会、院長様はじめ、姉妹の皆様のお祈りのおかげと感謝しております。今は、特別養護老人ホーム「マリアの園」で看護師として働かせて

### 番町・宇和島 創立百周年のお知らせ

#### 宇和島教会

宇和島教会の歴史は、1891年のパリー外国宣教会の活動に始まり、1906年にドミニコ会が受け継いでドミンゲス神父様が来宇され、宣教師の拠点を築かれました。

そして1921年、聖ドミニコ帰天七百年を記念しドミニコを保護聖人とするゴチック様式の美しい教会堂が現在の場所に建てられた11月1日を、教会の創立記念日としています。1928年には愛和聖母幼稚園が敷地内に併設されました。

爾来一世紀の間、神の豊かな恵みによって生まれ、多くの方々の祈りに支えられて歩みが続けることができました。2名の司教(田中英吉初代



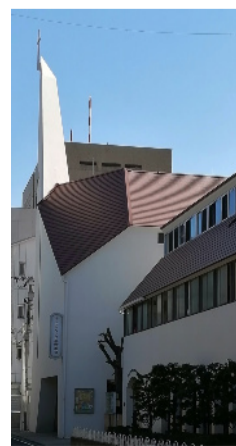
宇和島教会

高松司教、田中健一(前京都司教)と6名のシスターを輩出した南予の小さな教会は、神のご計画の許に新たな世紀を刻もうとしております。教区の皆様のご支援を心より感謝申し上げます。

百周年記念ミサは諏訪榮治郎司教様とドミニコ会の神父様方、ゆかりの方々をお迎えし、2021年11月20日(土)挙行予定です。同日に作家の宇神幸男氏による記念講演も行われます。

高松番町教会は、1921年(大正10年)ファンガルボ神父が香川で最初の宣教の場として教会を建てられ、来年の2021年に小教区創立百周年を迎えます。ロザリオ

高松番町教会は、1921年(大正10年)ファンガルボ神父が香川で最初の宣教の場として教会を建てられ、来年の2021年に小教区創立百周年を迎えます。ロザリオ



番町教会

百周年記念ミサは諏訪榮治郎司教様とドミニコ会の神父様方、ゆかりの方々をお迎えし、2021年11月20日(土)挙行予定です。同日に作家の宇神幸男氏による記念講演も行われます。

高松番町教会は、1921年(大正10年)ファンガルボ神父が香川で最初の宣教の場として教会を建てられ、来年の2021年に小教区創立百周年を迎えます。ロザリオ

### ◇教区スケジュール◇

- 11月
  - 1日(日) 諸聖人
  - 2日(月) 死者の日
  - 3日(火) 文化の日
  - 4日(水) 司祭評議会Web会議 (10:30)
  - 8日(日) 年間第32主日
  - 15日(日) 年間第33主日 貧しい人ための祈願日 聖書週間 (22日まで)
  - 21日(土) 聖マリアの奉獻
  - 22日(日) 王であるキリスト
  - 29日(日) 待降節第1主日
  - 30日(月) 聖アンデレ使徒
- 12月
  - 3日(木) 聖フランシスコ・ザビエル司祭
  - 6日(日) 待降節第2主日
  - 8日(火) 無原罪の聖マリア
  - 13日(日) 待降節第3主日
  - 20日(日) 待降節第4主日
  - 25日(金) 主の降誕
  - 26日(土) 聖ステファノ殉教者
  - 27日(日) 聖家族

### 子どもと女性をまもる委員会

#### 聖職者による性的虐待

#### 相談窓口

電話番号：087-831-6659

相談窓口受付時間  
月曜日から金曜日(祝日除く)  
午前9時～午後5時

高松教区対応チーム

### 教区広報から

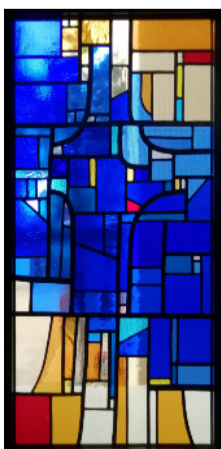
教区広報委員会では、教区報・インターネットで教区内小教区の情報を幅広くお伝えしていきたいので、皆様からの情報提供をお待ちしています。小教区の広報誌・新聞などに掲載された記事も歓迎です。各地区の広報委員を通して教区広報にニュースをお寄せください。

### 司教座聖堂に新しいステンドグラス

司教座聖堂桜町教会に、福島のステンドグラス職人渡邊真さん製作のステンドグラスが設置されました。

荘重で味わい深いステンドグラスが表現する、祭壇(内陣ステンドグラス)から流れ出た吉野川・四万十川の清く滔々とした流れの中で、訪れる人は主イエスに向かって祈る喜びを感じさせられ、それぞれの想いの中で神さまとの交わりの時を持つことができるでしょう。

水のみぐみ、森のみぐみにあふれる高松教区の司教座にふさわしく、また、自然とともに神をたたえる高松教区民にふさわしいステンドグラス、渡邊さんに感謝。(H)



十字架をモチーフとした1枚